

みなさんの不安に
お答えします!

Q.三

語学力が心配です..

応募には

● 英検3級

● TOEIC[®] 330点以上

でOKです!!

※ 他の言語でもDレベル(日常会話程度)以上で応募可能です。

2018年春募集合格者の**48.14%**が
Dレベルの語学力でした。

合格後、専門合宿所で
約70日間、語学を中心に訓練を受けます。

- 少人数制、講師による徹底した指導
- 日常会話程度はマスターします

現地に派遣後、
1カ月程度の現地語研修もあります。

※期間は派遣国によって異なります。

Q.三

職種選びに迷って
います..

自分の経験や技術、資格、興味関心事 を整理する。(自分自身の経験の棚卸)

学校で何を
学んだか

仕事で何を
してきたか

何に関心が
あるのか

免許・資格
(取得見込含む)

競技経験

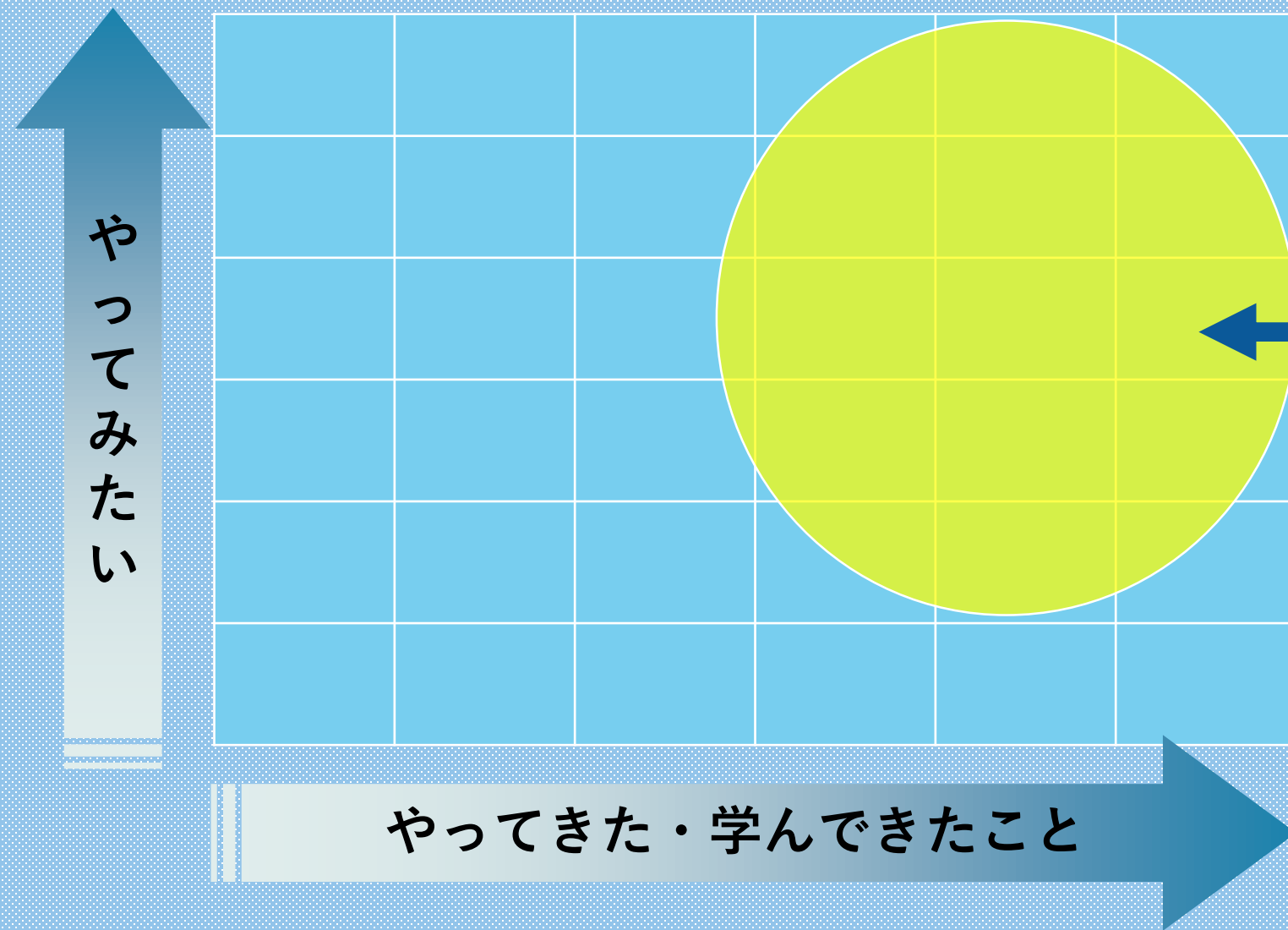
指導経験

なぜ協力隊に
応募するのか

ボランティア
経験



「やりたいこと」と「やれること」の2軸で探す。

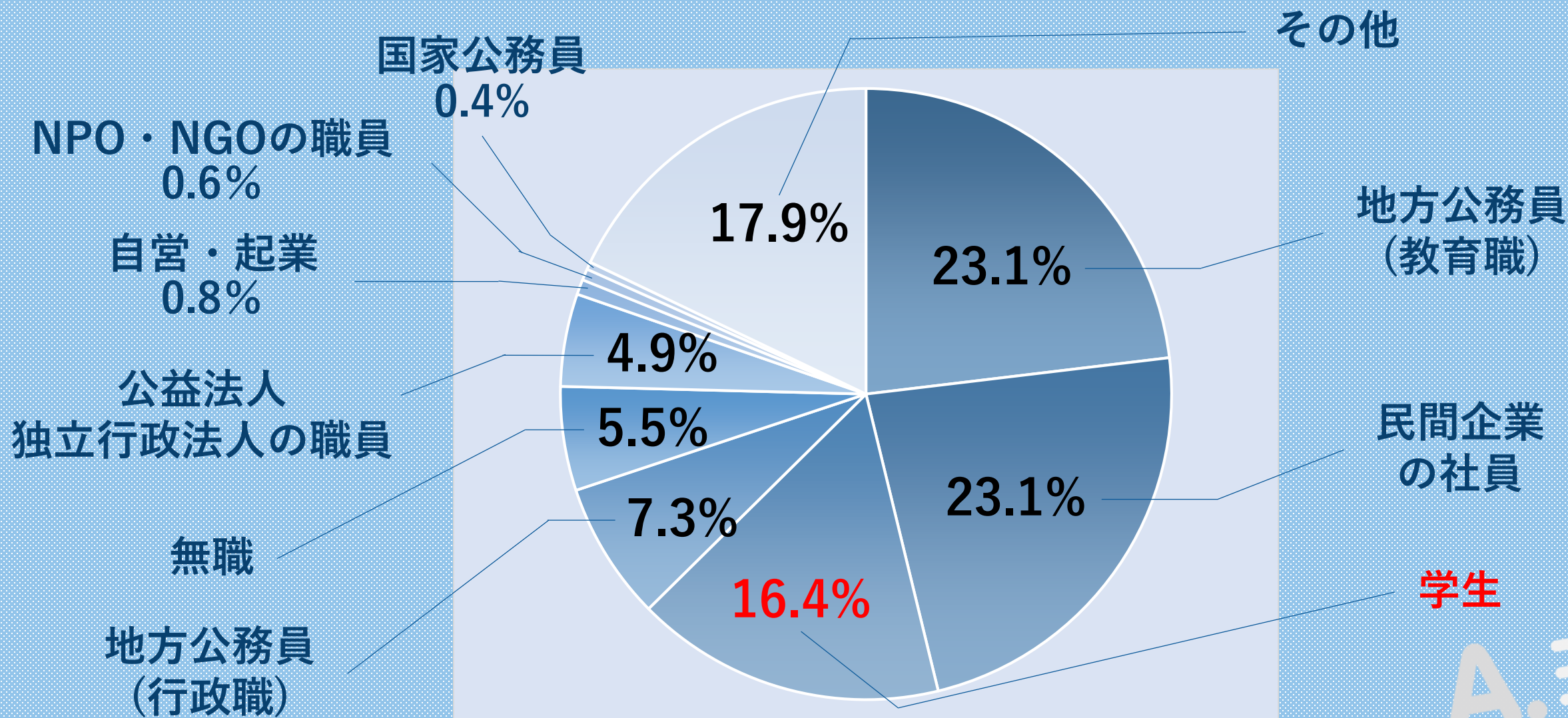


ねらい目の
要請案件の
範囲

Q.三

新卒では難しいで
しょうか？

2018年春募集二次合格者の16.4%が新卒者です!



Q.三

人気職種は、
合格倍率が高くて..

JICA海外協力隊の選考は、 受験生同士の競争ではありません。

- 希望したシゴト(要請案件)の活動ができるかどうかと健康状態で判断しています。
- そのため、要請数に対して応募者数が上回っていても、合格者数が要請数よりも少ないことがあるんです。

Q.三

選考のポイントは何？

ポイントは4つです。

- 応募動機と意欲、異文化への適応力、ボランティアとしての資質
- 技術、知識、経験は指導可能なレベルか
- 語学力は活動や生活に支障のないレベルか
- 派遣される国での生活に支障がない健康状態か (視力は0.7以下でも合格した応募者はいます)

Q.三

貯金が無いので無理
なんです..

現地での活動に必要な費用は受入国政府（あるいは配属先）やJICAが負担します。

- 現地への渡航費と日本への帰国費
- 現地での住居費
- 現地での生活費
- ケガや病気には労災保険と国際協力共済会
給付事業でカバー

※既往の傷病については医療費が出ません

Q.☰

住むところの安全が
心配で..

JICA海外協力隊は、ボランティアが**活動可能な安全な地域**にしか派遣されません。

現地の環境や住居の状況により

- 窓に防犯柵を補強
- 警備員を配置

等の万全の体制です。

Q.三

活動がうまくいかない
場合はどうすれば..

一人ではありません。
JICAがサポートします。

- 現地のJICA事務所、企画調査員に相談できます
- 日本にいる職種別技術顧問・技術専門員に支援依頼を希望できます

Q.三

現地では一人で活動
するんですか？

一人ではありません。
現地の配属先の同僚と活動します。

場合によっては、他職種で派遣されている
JICA海外協力隊と連携して活動する場合
もあります。

Q.三

派遣途中、日本に
帰国できますか？

配属先が認める休暇日数内において、私費による旅行が認められています。日本へはこの範囲内で帰国することができます。

病気療養、忌引、見舞い、退避等については、JICAの規定に従って、一時帰国することができます。

Q.三

帰国後、就職先は
紹介してくれますか？

JICAから就職先を紹介・斡旋することは
ありませんが**次の進路に進むサポート**は
します。

- 進路情報(企業、団体等からの帰国隊員向け
の人材募集情報)提供
- 就職セミナーや企業・団体との交流会開催
- 進路相談カウンセラーによる相談・アドバイス

Q.三

帰国してからの経済的
な面が心配で..

帰国後に次の進路への準備のために、
国内手当を支給します。

- 本邦支出対応分（月額×派遣期間）
- 協力活動完了金（月額×派遣期間）
- 経験者手当（月額×派遣期間）
※新制度のシニア案件での派遣者のみ